

低汚染形セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

セラMレタン

Cera M Retan

防カビ
防藻

高耐候

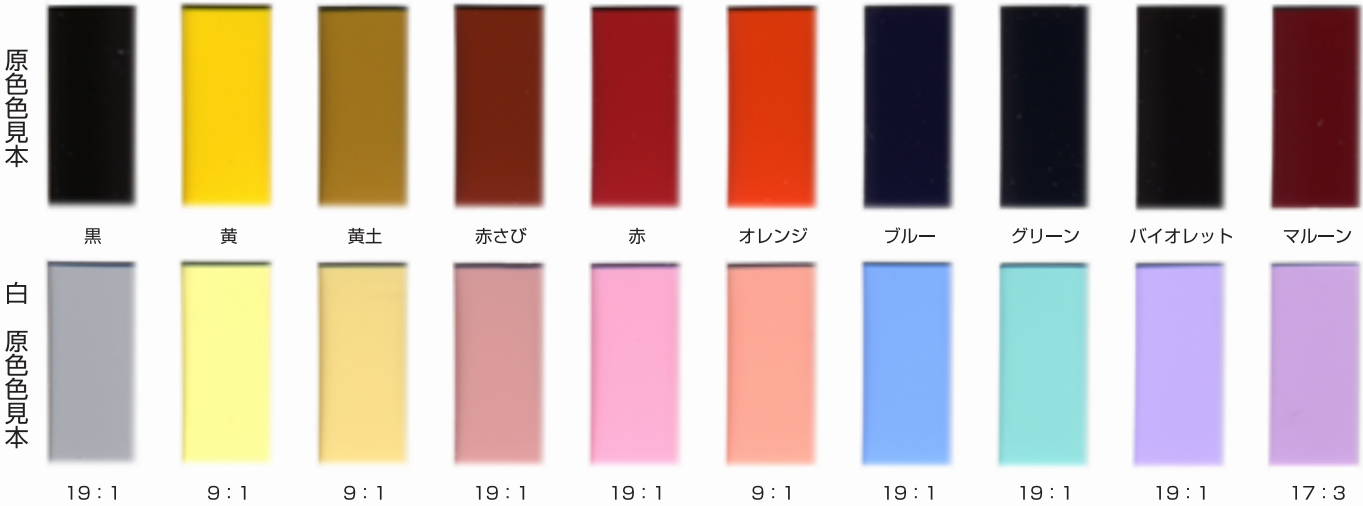


低汚染

「提案色」



●○印は材料費が割高になります。



※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。
”上記色見本のうち原色の色については、実物と多少色味が異なる場合があります。ご了承ください。”

〈荷姿〉 16kgセット（ベース 14.5kg・硬化剤 1.5kg）
4kgセット（ベース 3.6kg・硬化剤 0.4kg）
※弾性硬化剤は1.5kgのみ

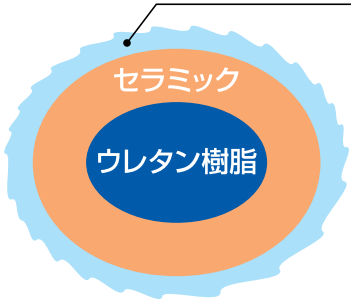
低汚染形セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

セラMレタン

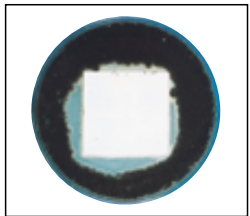
【特長】

- 1) 建築物は、油性塗料、フタル酸樹脂塗料、アクリル樹脂塗料など、様々な塗料で塗装されています。
これらの旧塗膜にリフティング現象を発生させずに塗り替えられます。
- 2) 2液硬化反応により耐候性、耐薬品性、耐久性など優れた塗膜性能を発揮します。
- 3) 弱溶剤の塗料用シンナーで希釈するため作業性に優れているばかりか、より安全な作業環境で塗装ができます。
- 4) セラミック変性ですので、もちろん低汚染形です。
- 5) 防カビ、防藻性を有しています。
- 6) 自社で試験した結果、JIS K 5656：2003 の品質規格を満たしています。

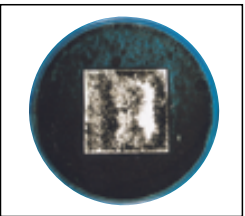
塗料用シンナー



【防カビ性】

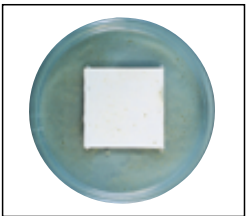


セラMレタン

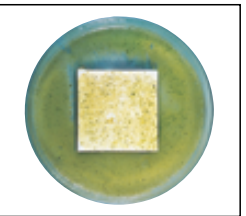


アクリル樹脂塗料

【防 藻 性】



セラMレタン

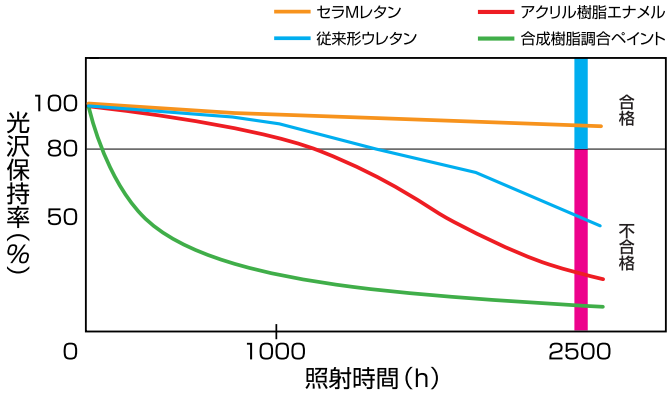


アクリル樹脂塗料

【耐候性比較】

■耐候形1種

JIS A 6909 耐候形1種 (キセノンランプ法 2500時間で光沢保持率80%以上) をクリア

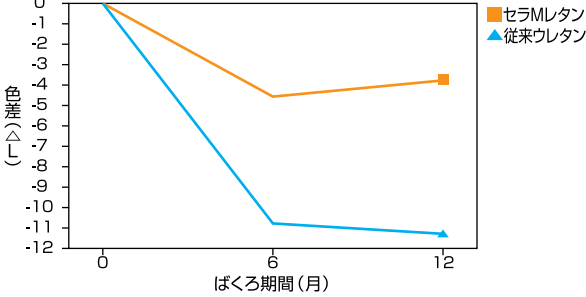


※白エナメルでの試験結果です。

【耐汚染性比較】 (数値が少ないほど色の変化がなく汚れにくい)

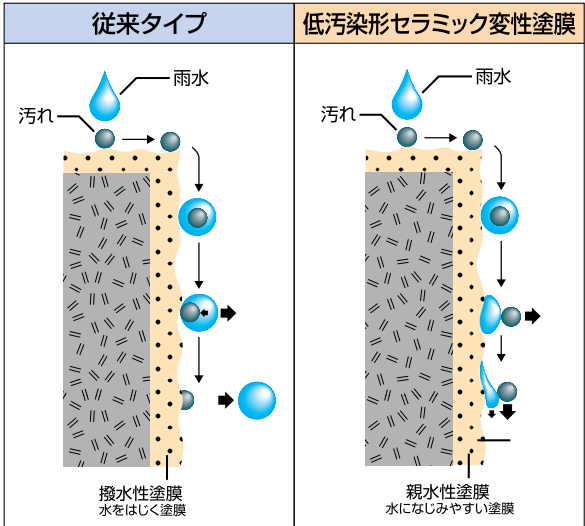
■屋外ばくろ試験

東京ばくろ



塗 料	色差 (ΔL)	
	6カ月後	12カ月後
セラMレタン	-4.8	-4.2
従来ウレタン	-10.7	-11.2

【塗膜図】



【JIS K 5656：2003 試験結果 (社内試験結果)】

試 験 項 目	試 験 結 果	試 験 条 件
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
乾燥時間 h	標準状態	8以下
	5℃	16以下
ポットライフ	合 格	5時間で使用できるものとする。
塗膜の外観	合 格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率% (白及び淡彩)	96	90以上
鏡面光沢度 (60°)	85	80以上
耐衝撃性 (落球式)	合 格	おもりの衝撃で塗膜に割れ及びひがれが生じてはならない。
付着性 (クロスカット法)	合 格	分類1以下であるものとする。
重ね塗り適合性	合 格	重ね塗りに支障があってはならない。
耐酸性	合 格	酸に接したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合 格	アルカリに接したとき異常がないものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性	合 格	湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。
促進耐候性	合 格	塗膜に、割れ・はがれ・影れがなく、光沢保持率は70%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて小さくなく、白亜化の等級が1以下であるものとする。
屋外暴露耐候性	合 格	塗膜に、割れ・はがれ・影れがなく、色の変化・つやの変化の程度が見本品に比べて小さくなく、白亜化の等級が3以下であるものとする。

【標準塗装仕様】

■コンクリート・モルタル・スレート面

1) 旧塗膜のテクスチャーを変えた塗替え

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。 劣化塗膜をクレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、 汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。			
2	下地調整材（下塗り）（中塗り）	アレスホルダーGⅡ 上水	0.8～1.5	8時間以上 7日以内	1～5 多孔質ローラー
3	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

2) 旧塗膜のテクスチャーを活かした塗替え

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。 劣化塗膜をクレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、 汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。			
2	下地調整材（下塗り）（中塗り）	アレスホルダーGⅡ 上水	0.3～0.5	8時間以上 7日以内	5～10 中毛ローラー
3	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

3) 平滑仕上げ

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・ サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な 面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。			
2	下塗り	エボムシーラー	0.15 0.18	16時間以上 7日以内	0 ローラー エアレス
3	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

施工上の注意事項

■塗料の混合比率

- セラムレタンは2液混合形の塗料です。
使用の際は、所定の混合比率を守って塗装してください。
- 硬化剤は、必ず専用の硬化剤を使用してください。
- 混合比率が異なったり、専用硬化剤以外のもので使用した場合、塗膜に粘着が残るなど塗膜性能に悪影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。
- 混合比率（重量比）ベース/硬化剤=10/1

■汚れについて

- シーリング材、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等レベルです。
- 建物の構造上、本来の低汚染性能が発現しない場合もあります。雨掛かりの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面では充分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承をお願いします。

■施工上の注意点

- 本品はインシアネート系の硬化剤を使用していますので塗装環境、特に高湿度の環境下での塗装はなるべく避けるようにしてください。
また、塗装時に塗料やスプレーミストが直接皮膚や粘膜に触れないように、またスプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。

ご使用上の注意事項

■下記の注意事項を守って下さい。

■詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に接触しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔・手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■一般鉄部（塗替え）

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	劣化している塗膜はクレン工具で除去する。さびは電動工具や サンドペーパーなどを用いて除去し、被塗表面を清掃する。 素地露出部は工程2の下塗りをういて補修塗りを行う。			
2	下塗り	ザウルスEX 塗料用シンナーA	0.13 0.17	4時間以上 7日以内	0～10 5～15 ローラー エアレス
3	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

■亜鉛メッキ面

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	溶剤脱脂により被塗面を清掃する。 白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。			
2	下塗り	スーパーザウルス（ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.14 0.17	4時間以上 7日以内	0～10 0～10 ローラー エアレス
3	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

（弾性仕上げの場合）※「弾性硬化剤使用」

■コンクリート・モルタル面

1) 複層仕上げ

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1	素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率8%以下とする。			
2	下塗り	アレスゴムタイルシーラー	0.15 0.18	2時間以上 7日以内	0 ローラー エアレス
3	中塗り	ベース アレスゴムタイルニューラフ上水	0.6～1.3	2時間以上 7日以内	10～20 リシンガン 4.5～6.5mmφ
3	中塗り	バタン塗り アレスゴムタイルニューラフ水	0.6～1.3	8時間以上 7日以内	1～3 タイルガン 6～8mmφ
4	上塗り（1回目）	セラムレタン（ベース/弾性硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス
5	上塗り（2回目）	セラムレタン（ベース/弾性硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	5～15 10～30 ハケ、ローラー エアレス

対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸い込んだ場合：空気の清浄な場所で安静にし、無理に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。必要に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立ち看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
北海道販売部 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越販売部 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
東京販売部 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪販売部 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
中国販売部 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国販売部 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州販売部 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は